



# つなぐ

Vol. **117**

**2014  
Summer**

平成26年7月1日

発行人 長野県民生委員児童委員  
協議会連合会  
会 長 伊藤 篤志

編集人 編集委員会  
委員長 熊井 文弘

〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号  
(長野県社会福祉協議会内)

**特集**

## 新会長インタビュー

福祉の先進地、長野市松代を事例に  
民生児童委員活動を考える、

### Contents

- ◆特集 新会長インタビュー  
福祉の先進地、長野市松代を事例に  
民生児童委員活動を考える .....2~5
- ◆民児協訪問 長和町 ..... 6  
岡谷市川岸地区 ..... 7
- 長野県民生委員児童委員協議会連合会  
平成26年度事業計画 ..... 8

# 特集

## 新会長インタビュー



### 福祉の先進地、 長野市松代を事例に 民生児童委員活動を考える

長野県民生委員児童委員協議会連合会の伊藤篤志新会長は長野市松代の委員です。福祉の先進地でもある松代地区の地域福祉について、長野市社会福祉協議会の職員として長年地域福祉に携わってきた小林博明さんが共に紹介しながら、伊藤会長の活動への思いを聞きました。

**伊藤篤志会長** (長野県民生委員児童委員協議会連合会会長)  
インタビュアー **小林博明さん**  
(現在 長野県社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉グループ 地域福祉推進員)  
場所：旧前島家住宅(長野市松代1105)

#### 福祉に携わったきっかけと課題

**小林** 民生児童委員になったのはいつからですか。

**伊藤** 平成元年に長野市に戻ってきた後、活動当時は松代地区で委員は46人体制でした。そのうち10人以上が元教員でしたので、私は異色だったと思います(笑)。

**小林** 現役時代はどんな仕事をされていたのですか。

**伊藤** 出版社の営業として全国を歩きました。父親が認知症になったのを機に長野に戻り10年は長野市で働いていました。仕事の傍ら区長をやったことが地域の福祉に関わった最初です。2年間区長を務めて、民生児童委員を引き受けたのです。前任の会長が体調を崩され途中で「会長になってくれ」と言われ、断り切れずになったので正直やりすらかったですね。松代地区の会長になったのは平成16年12月、平成19年12月から長野市の会長になりました。

**小林** 当時は女性が少なかったのですか。

**伊藤** 圧倒的に男性が多かったですね。今は市のOBや民間の方々、特に女性が活躍していますね。どちらかというと地域をわかっていることが大切です。その点、男性は退職したばかりだと、なかなか地域でなにをしてくれるのかわからないということが課題ですね。

#### 松代は様々な福祉事業の発祥の地

**小林** 「ふれあい配食」「ふれあい会食」は松代が発祥と言われていますが。

**伊藤** 松代地区では約30年前から1町5カ村で行われていたと聞いています。私の担当地区でも以前は月に3回程度の配食で、年に1回か2回は会食会を企画していました。最初は「日の出会」という婦人会のみなさんがボランティアで始めたそうです。その後民生児童委員が引き継ぎました(P3参照)。

**小林** バブルより前の介護保険のない時代、地域の女性たちがお年寄りの食生活に特に関心をもってやっていたのですよね。その活動が長野市全域へと広がって

いったわけですね。

**伊藤** 松代は地区の社会福祉協議会が活発に動いていたので、配食についても、市の予算を使うなど広がっていきました。

**小林** 福祉自動車についても、松代が最初のモデル地区としてスタートしたと聞いていますか。

**伊藤** そうですね。昭和63年ごろから松代と篠ノ井でスタートしたと聞いています。現在は長野市社会福祉協議会の「地域たすけあい事業」の一環として続いています。松代ボランティアセンターに事務局があります。センターには民生児童委員も気軽に立ち寄って、つなぎ役を果たしています。年間2千件以上の運行実績となっています(P4参照)。

**小林** 松代では民生児童委員を中心に、認知症の理解を啓発する活動「オレンジキャラバン」をやっているのですね。

**伊藤** はい。寸劇や紙芝居を通して、地域や学校などで、認知症への理解を呼びかけています。シナリオもオリジナルで書いて、大人・中学生・小学生向けの3つのバージョンがあります。数年前に県知事の前でやって話題になり、松代外にも呼ばれて行く事も多く、特徴的な活動となっています(P5参照)。

#### 「まちの縁側」が点在するまち

**小林** 福祉活動全般において松代は昔からモデル的な地域ですね。

**伊藤** 松代は昔から人の面倒見がいいという地域性があります。城下町という特性から、向こう三軒両隣の絆が強く、支え合ってきた長い歴史があります。

**小林** 一方で、松代には新しいものを受け入れる風潮もあるのではないのでしょうか。

**伊藤** かつて製糸工場が5つもあったのです。他の地域から「蚕」のつながりで、働きに来た人たちが居ついたり、お嫁に来たりして活性化した時代がありました。また、人に命令されるのではなく自分たちのこと

は自分たちで考ええてやるという独立精神が強いことも特徴です。他の地域を真似するのではなく自分たちで解決する必要性があったわけです。

**小林** 長野市社会福祉協議会が9年前から推進する「まちの縁側」活動があります。近所の絆が薄れつつある昨今、かつての縁側のように、まちの中で気軽に立ち寄って話せる住民の居場所を意図的に作るという活動です。

**伊藤** 最初にやったのが松代でしたか。

**小林** はい。名古屋の「NPO法人まちの縁側育み隊」延藤安弘さんを講師にして、松代のお寺で幻燈会をやったのが最初です。

**伊藤** 昔は縁側でお茶を飲んで情報を共有し、時には助け合っことが当たり前だったので、いいことですね。

**小林** 最初は「まちの縁側」を意図的に作るようなイメージでしたが、松代のまちをめぐって歩く商店の店先など、すでに結構あったのです。ある場所を発掘する方向で、松代では200カ所を目指しています。めぐって歩けばけっこう情報は集まる環境だと思います。

**伊藤** 今日対談をしている「旧前島邸」もまちの縁側なのです。7、8人が常時ボランティアでつめていて、ちょっと寄ればいろんな話もできます。また息子さんらが主任児童委員をやっている4世代同居の商店兼縁側もあります。また魚屋さんや酒屋さん、洋品店などたくさんありますね。

## 福祉のネットワークが育つまち

**小林** まちづくりのNPOが活躍しているというのも松代の特徴ですね。

**伊藤** 10年ほど前から行政がまちづくりや観光にかなり力を入れて動きました。「エコール・ド・まつしろ」（松代の学校）とあって、歴史の発掘をしたり文化財活用のボランティアを結成したり、松代の美化活動を

しました。人々の関心が観光に向きました。「NPO法人夢空間松代の夢と心を育む会」が「まち歩きセンター」の運営を担っています。

**小林** 一方で、長野市では平成17年から、地域福祉活動計画を地域ごとに作るという動きがあり、松代では民生児童委員も加わり、公募をかけて全部で50人ぐらいのメンバーで計画作りをしました。特に松代は福祉施設も多いですね。施設関係者も入って福祉活動をどうしようか考える会も開かれていますね。

**伊藤** そのおかげで、福祉に対する共通認識ができました。筋が通った活動の柱ができる人は動くのです。**小林** まちづくりで活躍する人たちも入って相談し合えるネットワークができていますね。他の地域に比べて「松代」という地域の団結力が強いと思います。

**伊藤** 確かに、松代の人たちは理屈も言いますが、一度腑に落ちれば協力し合える態勢ができています。



## 日の出会の

## お花見会食会訪問

30年ほど前からボランティアがスタート。ふれあい配食や会食のさきがけとなった松代東条地区の「日の出会」は、一人暮らしの高齢者が無料で会員になれ現在50名。民生児童委員11名で年3回ほど会食会を開催しています。4月に行われたお花見会食会にお邪魔しました。会長で民生児童委員の本勝也さんは「一歩踏み出して心の交流ができることが大事。少しでも孤独を解消できれば」と話します。手品や音楽発表などボランティアの活躍の場もあります。



参加したお年寄りの笑顔があふれます。

手品のボランティアの発表も。



▲民生児童委員が企画運営します。



前島家は、上田・松代で代々真田家に仕えました。江戸時代中期には300石といわれています。主屋は宝暦9年(1759)の建築で、松代町に現存する武家屋敷の中で最も古い時代のものであります。

まずは傍観者として観察することから

**小林** 民生児童委員の活動についてお話をください。

**伊藤** まず、全般的にはコミュニケーションができていて、根気よく接することをやらなければだめだと思います。とはいえ、当事者に毎日ついていることもできません。ですから、地域の人たちに協力員として支えてもらう。もちろん当事者にもわかってもらいながら見守っていくことが大事です。

**小林** 松代ではネットワークができてくるからいいですね。

**伊藤** しかし初めて民生児童委員になった人は、すべてに関係作りをするのは難しい。

**小林** 男性の場合、特に委員自身がなかなか地域に溶

け込んでいけないのでは。

**伊藤** 実は、その委員の奥さんが地域につながっているのです。女性の力は大切です。私も妻に協力を頼むことは頼むのですが、民生児童委員は守秘義務があるので肝心なことが言えないという苦しさはあるのです。

**小林** どう動けばいいのでしょうか。

**伊藤** まずは、区長や組長、班長、それから日赤奉仕団、育成会とつながりをもって頼んでおく情報をもとにします。そこから横につながっていくのです。私はよく新人に「ちゃらんぽらんではいけません」と言います(笑)。あまり熱心になりすぎないこと。自分はまだ傍観者となって地区の様子や、地域の人たちの人となりをじっくり観察してから動くということが良いと思います。

松代ボランティアセンター訪問

松代支所の1階に位置し、気軽に立ち寄ってお茶が飲め、福祉の情報を得られる場となっています。コーディネーター、地域福祉ワーカー、事務局員が常駐しています。住民参加型の有償在宅福祉サービス「地域たすけあい事業」の拠点として、家事援助・福祉移送サービスにないでいます。草取りやごみ捨てを始め、病院への移送サービスや付き添いなど需要は多く、昨年実績で家事援助が年間330件、福祉自動車運行が2205件、利用会員は2013名、協力会員は40名となっています。「民生児童委員のカフェ」と呼ばれるほど、気軽に委員も立ち寄って、ボランティアやスタッフと話したり、必要なサービスにつながるという、欠かせない「まちの縁側」の一つなのです。

▶ボランティアセンターは、スタッフと委員とのコミュニケーションの場。



▲まちの縁側の1つ。洋服店では話が花が咲いています。

▲松代ボランティアセンターは支所の入口左側に位置しています。



▲松代のまちを歩くと多くの場所にまちの縁側があります。

**小林** 聞き上手、頼み上手になることです。ね。  
**伊藤** はい、人に悪い印象を与えないことは大事です。いつもニコニコしている人々と気さくに話すことです。理屈ばかり考えずに、まず人とお話しすることです。  
**小林** 昔は自分の身を明かさないと印象ですが。  
**伊藤** 今は、もっと宣伝しなさいという時代です。その点長野県は広報という面では遅れています。四国の高松市ではCMを作って流していますし、広報は時代の要求だと感じています。これだけ我々が動いていても区長ですら我々が何をしているのかわらないところも多いですから。特に子供のことに關しては、知られていないこともあり、なかなか情報が入ってきません。学校、児童センターや放課後プラザ、子育て支援センターにもなかなか向かないのが現状です。そこが課題ですね。

### コミュニケーションを心がける

**小林** 県民児童連の会長としてどうありたいですか。  
**伊藤** ごく普通に自然体でやっていきたいと思っています。時代に沿った形で今の仕事をやっていかねばいいですね。  
**小林** 長野県は広いですね。  
**伊藤** 広すぎて、文化や習慣、住民の考え方も地域によつてぜんぜん違いますね。しかし新役員も大変いい人材が揃っていますから、まずは皆さんを知ることから始めていきたいと思えます。  
**小林** 一人で抱え込むより仲間と解決ということですかね。  
**伊藤** 民生児童委員になつて精神的に辛くなつてしまつ事例があります。松代では社協のOBの「委員相談員」を置いて委員の悩みを聞くということをしています。各地域で民生児童委員が悩んだとき、解決できる態勢をつくっていくことも大切です。  
**小林** これからは一層複雑な事情を抱える当事者に関わらなければならぬ。  
**伊藤** はい。でも一方で、地域包括支援センター、在宅介護支援センターなどの機関や、介護に関わる人も増えています。ですから、民生児童委員はいろんな機関や人とつながつて連携を取ることが大事です。  
**小林** 人の役に立つのがうまい人など、探せば地域に人材は豊富ですね。  
**伊藤** そつです。基本はやはりコミュニケーションになります。地域の人や関係機関だけでなく、委員同士や、特に会長にはなんでも気軽に相談してもらつことが大切です。一人では手に負えないのは当たり前です。ちよつとでも疑問があればすぐに声に出して相談することです。それが人の役に立つ一番の近道なのです。  
**小林** 本日はありがとうございました。

### 松代オレンジキャラバン 活動紹介

認知症を学ぶ地域を支える活動「松代オレンジキャラバン」は民生児童委員とそのOB7名のグループです。新入民生児童委員や福祉委員の研修のための公演にお邪魔しました。平成21年に研修を受けたのをきっかけに、「どうしたら認知症を多くの人に理解してもらえるか」を考え、傳田恭司代表が高校生と協力して絵を描くなど独自の活動をスタート。多くの人に印象的に理解してもらうため、試行錯誤し現在は紙芝居や寸劇を主体とした活動となつてい



ました活動となつています。一般の大人向け、小学生向け、中学生向けの3つのバージョンがあり、地域の学校での啓発活動にも力を入れており、松代内外で年間20回ほどの活動を行っています。



紙芝居の発表

寸劇で認知症の役を熱演



▲民生児童委員とOBのみなさん

# 訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

# 民児協 だより



## 長和町民生児童委員協議会



▲町内の福祉施設視察を前に。前列左端が安藤一登会長。

**顔の見える関係づくりは日常のお付き合いから。課題は高齢者の買い物等の移動手段。**

長和町は、旧長門町と旧和田村が合併して2005年に誕生した人口7000人弱、世帯数約2700の町。中山道の長久保宿と和田宿の宿場町だった面影が色濃く残る町並みが、今も旅人を惹き付けています。60代を中心に29人からなる民生児童委員協議会の会長は、長久保地区の安藤一登さん。長和町の人々について「リュックを背負って中山道を歩く人たちがよく訪れるので気軽に挨拶し合い、近所付き合いも密で助け合いの精

神があり、人間性がいい」と語ります。

「顔の見える町」という長和町の方針と同じく、民生児童委員協議会も「大切なのは顔の見える関係づくり」と安藤さん。病院、老人福祉施設、グループホーム、障がい者施設がそろい、町の福祉体制が充実しているのを背景に、民生児童委員の役割は日ごろの付き合いの中での自配りです。そのため安藤さんは、お祭りや育成会の行事に出て子どもたちに顔を覚えてもらうことや、公の情報では分からない様子を知るためにも地区の旅行に積極的に参加することを委員に奨励しています。

小中学校との連絡も密で、授業参観や懇談会に出席し、野菜づくりのサポートをし、月に1度は校門の前に立って挨拶運動をしています。

このような顔の見える関係づくりを進める上で課題となっているのは、近所付き合いを好まない人との関係づくりや、別荘地として開発した地区に高齢になつてから定住する人たちの実態把握、そして「高齢者の買い物問題」。大型店の出店で個人商



▲視察先の障がい者サポート施設「ぶらっと」で説明を聞く民生児童委員の皆さん。

店がなくなり、その大型店が撤退してから町内に買い物場所がなくなりました。イトーヨーカ堂の協力により移動車を手配してもらっていますが「店で好みに買物を楽しむためにも、離れた店まで高齢者を乗せて行ける仕組みを検討したい」とのことです。

65歳の安藤さんは民生児童委員2期目で、会長に就任したばかり自動車関連会社の営業マンだったことから「人見知りをしてないので家を訪問するには便利」と笑います。5月の定例会は町内の5つの福祉施設を視察する研修会とし、結束を強めました。

## 岡谷市川岸地区民生児童委員協議会



▲毎年書き溜めた活動ノートと(会長宅にて)

「地域力が大切」と山崎会長は話します。隣組を基本にした地域の絆が生きているのもこの川岸地区の特徴です。民生児童委員が携わる配食会や食事会ひとつとってみても、昔から続く5つの地区は、それぞれやり方が違います。民生児童委員は地域に密着して、地域のやり方を尊重し、住民の一人一人を見守っています。

また「3期目に入って感じることは、民生児童委員は一人でジタバタしてもなにもできないということ。われわれは住民の代弁者で、伝えることが大事」と指摘。地元住民や行政、社会福祉協議会、警察など、多くの機関と積極的に連携し、情報を定例会で共有しています。そして、もう一つの特徴は、民生児童

川岸地区は、天竜川沿いに縦8kmほどある地域で、5つの地区が集まっています。人口は約8300人、世帯数は約3200、民生児童委員が19名、主任児童委員が2名、計21名で地域を支えています。

「地域力が大切」と山崎会長は話します。隣組を基本にした地域の絆が生きているのもこの川岸地区の特徴です。民生児童委員が携わる配食会や食事会ひとつとってみても、昔から続く5つの地区は、それぞれやり方が違います。民生

**天竜川沿い5つの地区の「地域性」を大切に。委員内の専門家に相談し互いにサポートを。**

児童委員は地域に密着して、地域のやり方を尊重し、住民の一人一人を見守っています。

昨年の改選で新人は5、6人程度。「2期以上やることで、委員としてなにをやるべきかが見えてくる」と山崎会長は言います。会長本人は民生児童委員になった年から独自に活動ノートをつけています。委員として会議や地域のイベントに出席したことに加え「今日は道で〇〇さんに会って元気がうだった」など日常での何気ない高齢者との接触を記録しておくことで「問題にぶつかったとき、読み返すと必ずヒントが隠されている。これは一つの方法として参考に」と話してくれました。

委員の中にケアマネジャーなど介護関係者が4名いることです。彼らからのすばやい情報提供はもとより、他の委員が少しでも疑問をもったり悩んだりしたら、迷わず連絡を取り、サポートしあうことにしています。取材時にも定例会で、病気の高齢者への対応事例を出し、近所にボランティアの頼み方や、弁護士、警備会社、行政など、具体的な連携事例を共有していました。山崎会長はインタビューの最後に「人は一人では生きていけない。我々は人と人とのパイプ役」と結びました。



▲それぞれが経験を出し合い、サポートしあえる仲間



### 表紙写真紹介

#### 「松代のながいも畑」

撮影

長野市松代地区在住 桜井 修自 さん

松代では松代藩真田十万石の時代より「ながいも」は自家用栽培されていたと言われています。千曲川の砂地で作られるながいもは、形も味もよく、松代の名産となっています。

profile 退職後、区長や社協役員をつとめ、様々な地域のボランティアとして活躍中。



# 長野県民生委員児童委員協議会連合会 平成26年度事業計画

## 「広げよう 地域の笑顔! 元気! 支え合い!」

～誰もが住みやすい地域づくりをめざして～

### I 事業の方針

社会や家庭の姿が変化するなか、さまざまな生活課題を抱え、支援を必要とする人びとが増えていきます。とくに経済的困窮や社会的孤立の状態にある生活困窮者の支援や子どもの貧困対策は重要な課題で、国は生活困窮者自立支援法、子どもの貧困対策推進法を成立させました。

一方、地震や豪雨・豪雪などの自然災害により、各地で人びとの穏やかな日常生活の営みが奪われています。本年2月、記録的な大雪に見舞われた県内でも、安否確認や除雪・灯油等の供給などで、地域における近助・共助の取り組みが一層見直されました。災害時要援護者支援について、国は昨年6月、災害対策基本法を改正し、市町村長に「避難行動要支援者名簿」の作成を義務付けるとともに、地域の関係者との連携によりその支援体制整備を進めることとしました。

さらに、依然深刻な状況にある児童虐待問題をはじめ、高齢者や障がい者の孤立や悪質商法被害防止等の課題への対応においても、住民の身近なところで、住民の立場に立って相談・支援活動を行っている民生委員・児童委員への期待はますます高まっています。

こうしたなか、昨年12月に行われた一斉改選で、県内で5,200名以上の民生委員・児童委員がその新しい3年間の活動をスタートさせました。しかしながら、昼夜を問わない委員の活動が地域住民に十分理解されているとはいえ、委員の「なり手」確保や継続が課題となっており、委員活動の負担軽減のための環境整備が強く求められています。

こうした状況をふまえ、県民児連では、引き続き「民生委員制度創設90周年活動強化方策」「広げよう 地域に根ざした 思いやり」行動宣言に基づき、誰もが安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献できるよう、市町村民児協や単位民児協が地域の関係機関・団体等との連携・協働体制の強化を図り、地域住民が支え合う取り組みを充実させるための事業を実施するとともに委員が活動しやすい環境づくりのための検討をすすめます。

### II 事業の重点

- 1 災害時要援護者支援活動の推進
- 2 地域社会での孤立・孤独をなくす運動の推進
- 3 地域における子育て支援活動の推進
- 4 生活困窮世帯（生活困難家庭）への相談支援活動の推進
- 5 単位民児協の組織強化の推進
- 6 民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりの推進
- 7 「民生委員・児童委員活動保険」の周知



青葉若葉の季節到来と思いきや真夏を思わせるような日々、高齢者への熱中症注意喚起の見守り訪問にご苦労されたことと思います。今号は新会長さんの民生児童委員活動への思いを担当地区の活動を紹介していただきながらインタビューの形で掲載いたしました。認知症・行方不明者の実態問題、振り込め詐欺被害の増大化と高齢者問題がマスコミを賑わしてあります。私達、民生児童委員がどこまで関わりこれを防ぐことが出来るかと考えると、やはり日常の見守り訪問の重要性が考えられます。高齢者に何でも話し又相談していただける委員になることが必要不可欠と感じております。地域における問題は様々であり違いがあります。しかし私達、民生児童委員の目的は共通だと思えます。それは高齢者の皆さんが住み慣れた土地で安心して安全な生活を送っていただけるようにするということではないでしょうか？他の地区の皆さんの活動も本誌を通じて知ることが出来ます。これからも参考にし地区の見守り役を果たすべく一丸となって努力していきたいものです。

(草深 邦子)



編集委員 / 熊井 文弘・草深 邦子・古川 友枝・依田 宗夫